
月曜日の詩

SHUNKE

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月曜日の詩

【ZPDF】

N94090

【作者名】

SHUNKE

【あらすじ】

僕の予定は完全なのです
僕は君に会いに行く

僕の悲しみは、いつだってささくれだって
自分にだつて触れない

悲しみは影に隠れて、静かに心の奥の方を蝕む

いつだつて最後で、次が無い
時間は現在の形を巧妙に変化させ
なけなしの錢を掠め取つて行く

僕は今日君に話しかける勇気を持つて
北から上る太陽を背に歌を歌つて
その道を進んでいったんだ

そしたらどうだ

足元から覗く月が僕の運命線を見て
嘲笑うではないか

僕は存在を失つて君への恋心を森に捨てた

僕は本当に誰かと出会いたくて
時計の秒針を太陽の南中に合わせて
北へと向かつたんだ

僕の悲しみは、風化してしまつて
元あつた形を失う

僕は涙を流すことも無く

ただあの人胡坐をかく、その下で
ゆっくりと死んでいく

君も死んでしまうのですか

その速度はどれくらいですか

僕は君は死なないのではないかと思うのです

だって、僕は毎週君に会いに行かなければならないのですから

僕の予定は完全なのです

僕は僕で無くなるのです

逆さまに見える風景を

僕はすれ違っていくのです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9409o/>

月曜日の詩

2010年11月16日00時44分発行